

## 2017年度第1回NPO法人共同保存図書館・多摩理事会

- 1 日時：2017年4月20日（木） 午後6時30分から午後9時
- 2 場所：立川市柴崎学習館 第2教室（地下） （立川市柴崎町2-15-8）
- 3 議決権のある理事：8名、出席理事：6名  
出席者：齊藤誠一、座間直壯、田中ヒロ、手嶋孝典、堀渡、矢崎省三  
欠席者：清田義昭、平山恵三  
事務局：

### 4 報告及び協議事項

#### (1) 第1号議案 会員の動向について【報告】

・2017年4月1日現在

正会員 93名2団体 賛助会員 42名1団体 計135名3団体(合計138名)

※ 年度末(3/31)をもって退会される方2名、新年度から入会：4名

※ 年度が変わって、会費未納により資格停止になる可能性がある方：1名

#### (2) 第2号議案 第29回多摩デポ講座『新都立多摩図書館の施設見学会』について【報告】

- ・3月6日（月）午後2時～3時の日程で、新都立多摩図書館のバックヤードツアーを実施した。
- ・関心が高く、参加は39名で盛会だった（多摩デポ会員・非会員の割合はほぼ半数ずつ）。
- ・参加者の内訳は、多摩地域の現役図書館員、住民、他地域および他県の図書館員、国立国会図書館の関係者などであった。
- ・現役職員でも事業の担当者以外は、業務内ではまだ、なかなか見学の手がかりがもてないようだ。
- ・大勢の来館者で新しい図書館のフロアはにぎわっており、1階の書庫内には雑誌及び児童資料が既に整然と並んでいた。
- ・児童書コーナーはフロア内を回り込んだ位置にあり、その位置取り、また南のガラス窓に面していることでの日照による本の焼け、隣の利用者席への音漏れ等が気になった。
- ・書庫の児童書の新刊見本コーナーやロビーの市町村観光パンフコーナー等はまだまだ充実しているとは言えない。実態が作られるのはまだこれからではないか。
- ・雑誌資料や児童青少年資料についての専門図書館、市町村支援の第二線図書館の役割、また地域住民の利用への対応に対するスタンスがまだはっきり見えない。
- ・書庫は天井高があり10～15連10段の丈の高い電動書架が入っている。確かに収蔵可能冊数は多そうだが、スタッフの入庫および出納作業は大変そうだった。
- ・今後は、特に施設見学会などで相手のある場合は、参加希望者の事前申し込みや定員制をとる必要がある。また関連して、参加した方をその後の会活動につなげたりコミュニケーションをつなぐためには、当日参加者に個票を配って連絡先を記入してもらったり、アンケート記入をお願いして、参加者把握を図ることも必要である（ただし記入に強制はしない）。

#### (3) 第3号議案 (株)カーリルとの共同研究について【報告・協議】

- ・共同研究の定例会を3月9日（木）、4月14日（木）に開催した。
- ・TAMALASの改良課題について
  - ・相当に精度は上がり安定して結果を得られるようになっているが、一部の自治体の検索では若干不安定なことがあり、その原因を究明している。また都立中央図書館の「統合検索」と

の比較を続けていると、「統合検索」の不安定さも見えてきている。

- ・ ISBN 有り資料の大量一括検索処理について
  - ・ 昨年夏、西東京市で除籍候補となっていた約 7000 件の大量の蔵書の重複調査を依頼され、カーリルのシステムに投入して作業を行い、検索結果は同市に返しているが、同市での除籍処理は 1~2 月の曝書時に終了した、と聞いている。このような大量の除籍候補資料がある場合にいつでもデータを一括投入して検索できる仕組みを研究している。この場合、すべての市の電算システムに対応できることが最低条件となる。
  - ・ これについては 3 月に国分寺市から提供された蔵書データでも実験を行い、図書館データがどのような形式であれ ISBN 付きデータを提供してもらえれば、大量資料を一括検索し結果を出せる目途がついた。次には各図書館に対して、これを活用しようと需要を喚起していく必要がある。スムーズに活用されていくためには、役所が外部にデータを出すことになるため、館長会と多摩デポで認識を深めて、一括的に協定を交わすこと等も必要だろう。
- ・ TAMALAS の運用について
  - ・ 「TAMALAS 活用マニュアル」を確定し、3 月 31 日に多摩デポHPへアップした。
  - ・ TAMALAS の検索でラストワンツートなった資料のタイトル及び所蔵自治体名を抜き出し、結果をプリントアウトできる機能の追加が課題であった。これを検討し 4 月 14 日に TAMALAS の画面に付け加えた（「すべて表示」と「ラストワンツートにしぼり込む」）。使ってもらい、使い勝手や反響を得ていきたい。
- ・ ISBN 無し資料の同定についての研究
  - ・ 昨年の西東京市の大量重複調査の時に、ISBN の付いていない資料については約 1000 件余を人力で同定し、西東京市に結果を返している。その作業時に作成した同定の判断基準を整理して研究する必要がある。カーリルが関わって現在行われている京都府での実証実験では、機械的に同定する方法の検討もされているようだが、結局は、実務経験者の知恵を集めた同定の判断基準をかみ合わせることは必要となる。研究を先に進めるために判断基準のまとめを行っていく。なお、最終的には現物同士を付け合わせるチェックが正確であり、ISBN 無し資料だけでも一ヶ所に集める共同保存図書館の必要性についても検討していく。
- ・ TAMALAS の多摩地域説明会の第 2 回目の実施
  - ・ 昨年度、多摩北部の図書館に TAMALAS の説明会を行ったが、次の説明会を別の地域でも実施していく必要がある。館長会の図書館ブロックごとに実施する予定だが、2 回目を行うブロックへの打診をしていきたい。第 2 回説明会では、TAMALAS マニュアルに沿った説明も行うが、大量一括検索処理の方法についても PR し、活用を促していく。

#### (4) 第 4 号議案 2017 年度総会の議案および記念講演について【報告・協議】

##### ① 総会開催日

5 月 21 日(日) 午後 2 時~3 時 国分寺労政会館 第 1 会議室 (地下)

##### ② 役員改選について

- ・ 現役員は 2017 年 5 月 31 日で任期 2 年の満了、この総会で改選となる。
- ・ 役員候補

理事は、平山氏退任、堀越洋一郎氏新任候補。他の理事の方は継続とする提案をすることを確認した。

監事は、国分氏退任、山崎明子氏新任候補。浴氏は継続とする提案をすることを確認した。

##### ③ 議案書の検討・確定について

- ・前回理事会で、第一号議案のうち 2016 年度の 2～3 月期間の事業、多摩デポ関係の報道等の一覧、第三号議案の基本方針の一部および 1 (2) の事業が未確定となっていた。その点について審議し、確定した。
- ・また、決算、予算関係の第二号議案、第四号は本日の理事会で審議し確定した。
- ・「任期満了に伴う役員改選について」の提案が、第五号議案となる。

④総会記念講演会の時間、講師、演題

午後 3 時 20 分～4 時 40 分 講師：永江朗氏 演題は講師と検討中

⑤準備スケジュール

- ・諸資料印刷と発送 4 月 27 日 (木)
- ・委任状返送締め切り 5 月 8 日 (月)
- ・準備のための事務局会議 5 月 9 日 (火)

⑥当日の進行

- ・総会司会 雨谷、開会挨拶 座間、議長 座間、議案説明 堀及び田中
- ・総会で会員に理事の退任を報告する。(退任者のあいさつの時間を設けたい)
- ・記念講演会司会 堀
- ・懇親会 午後 5 時～ 会場「あひるのたまご」

⑦理事長・副理事長の互選について

総会で決定された新理事の間で、5 月 31 日の就任以降に互選をする必要がある。新理事で、2017 年度第 2 回理事会を早急に開き、理事長・副理事長を互選し、それを含めて登記所や東京都へ変更手続き、変更届をする必要がある。

(副理事長は定款上、1 名以上 2 名以内で選任しなければいけない。事務局長も理事会選任)

※5 月 31 日午前に開催できれば、午後に登記所に役員変更と資産の変更手続きを合わせて行うことができる。なおこの理事会では、平山氏の新顧問就任も審議されたい。

(5) 第 5 号議案 多摩デポ通信第 4 2 号について【報告・協議】

※年度総会が控えている時期に、以下のような紙面構成で発行を予定する。

- ・理事長あいさつ、総会開催案内、今総会の意義の説明、参加呼びかけ、委任状提出依頼
- ・総会記念講演会の案内、講師紹介
- ・第 28 回多摩デポ講座 (国立国会図書館デジタル化) 実施報告 参加者感想
- ・第 29 回講座 (都立多摩図書館バックヤードツアー) 実施報告 参加者感想
- ・カーリル定例会報告 (連載第 10 回)
- ・大量除籍候補資料を、多摩デポ&カーリルに依頼して一括検索してもらった経験について (西東京市図書館) など
- ・「多摩デポ通信」は総会議案書、委任状用紙などを同封して、4 月 27 日には印刷、発送する。
- ・その他の同封物：委任状返信用封筒、会費納入依頼文、振込用紙、総会記念講演会チラシ「よみうりたま手箱」2 月、3 月分

(6) 情報交換

- ・多摩デポブックレット第 11 号 (福島聡氏講演録) の進捗状況について
- ・都立多摩図書館への「多摩デポ」の要望・提案について

【多摩デポ論文】

- ・『みんなの図書館』3 月号 p62-70

「各地のたより 多摩デポ講座「私の図書館での仕事、そして多摩六都連携」の実施報告  
堀渡

【共同保存図書館関連論文】

- ・ “図書館検索カーリルから見える図書館の実態 [後編]：検索の先にあるデータの活用”.  
Insight for D. 2017-3-13. <https://d-marketing.yahoo.co.jp/entry/20170313443117.html>,

【読売新聞 多摩版コラム「週刊たま手箱」】

- ・ 2月15日 「希少本保存 図書館共同で」 (堀渡)
- ・ 3月29日 「地域活動に図書館の原点」 (堀渡)
- ・ 5月初旬掲載? 「立川時代の都立多摩図書館 (仮題)」 (蓑田明子)

- ★ 次回の理事会 2017年5月31日(水) 午前
- ☆ 次回の事務局会議 2017年5月9日(火) 午後6時30分～
- ★ カーリルとの共同研究 第21回定例会  
6月1日(木) 午後6時30分～

5 議事録署名人の選任

議事録署名人として2名を選任することを諮り、田中ヒロ理事、矢崎省三理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2017年4月20日

議長

議事録署名人

議事録署名人